

令和5年（ワ）第6275号 国家賠償請求事件

原告 〇〇〇〇ほか1名

被告 国

証拠説明書(2)(乙B)

令和5年11月20日

東京地方裁判所民事第35部合A3係 御中

被告指定代理人	稲玉	祐
	岡田	健斗
	古瀧	孝明
	五十嵐	雅子
	内城	良
	齋藤	了爾
	大立	浩司
	福田	浩一
	望月	裕太
	齊藤	泰貴
	足立	誉弥
	長山	貴尚
	後藤	真広

松村将彦

略語等は、被告の準備書面の例による。

号証	標 目 (作成者)		作 成 年月日	立 証 趣 旨
乙B 14	医学生のための超音波検査の常識 (児島完治)	写し	平成 23.9	エコー検査について
乙B 15	標準泌尿器科学第10版 (医学書院)	写し	令和 3.3.15	エコー検査及び精巣腫瘍と陰嚢水腫の鑑別診断等及び陰嚢水自然剥離細胞診が泌尿器科領域における検査法として確立していることについて
乙B 16	プローブの種類 (中外医学社ホームページ)	写し	令和 5.10.25	プローブの種類の違いについて
乙B 17	超音波検査法セミナー (超音波検査法フォーラム)	写し	令和 5.9.28 (印刷日)	陰嚢内のエコー検査には、7.5メガヘルツ程度のリニア型プローブを用いることが適していること及びコンベックス型プローブを用いる場合があるが、その場合は5メガヘルツの周波数が必要であること
乙B 18	本件支所に設置されていたエコー診断装置のプローブ取扱説明書	写し	作成年月 日不詳	本件支所に設置されていたエコー診断装置のプローブの周波数は3.75メガヘルツ

	(東芝メディカルシステムズ)			で対象臓器は腹部臓器とされていること等
乙B 19	陰嚢穿刺細胞診にて診断し得た辜丸形質細胞腫の1例 (島田智子ら)	写し	平成 7.11	術中陰嚢内容液細胞診により辜丸形質細胞腫と診断された症例、陰嚢水自然剥離細胞診の正当性等について